

## 編集後記

庭先のサザンカの蜜を吸いにきていたメジロも姿を見せなくなり、所々にフキノトウが顔をのぞかせてきました。春はすぐそこまでやってきています。

今号は、報告と研究ノートになり論説のなかったことをお許し願います。池邊氏には、平成11年に大分市松岡で調査された松岡古窯跡群の報告をお願いしました。豊後国で初めて発見された須恵器窯で、その供給先を含めて大変注目される遺跡といえます。吉永氏の「大分県の登録文化財について」は、一般に聞き慣れていない「登録文化財」の現状と今後の活用についてまとめていただいた。佐伯氏は、岡城跡と一体になって保存整備が行なわれている竹田市の街並み保存の現状と課題について報告をいただいた。「大分県のシン垣について」は、平成11年から大分県教育委員会が調査を実施したその結果を一部報告したものである。小柳氏には、文化財調査における土地履歴書作成の必要性を研究ノートとしてまとめていただいた。

21世紀最初の号となりましたが、大分県地方史研究会と会員諸氏の益々のご発展をお祈りいたします。